

請願・陳情等の受理状況について

平成30年1月22日

ア 京都府京丹後市議会からの意見書について 京丹後市議会 議長 松本 経一

請	願	書	0	件
要	請	書	1	件
	計		1	件



(報告)

京都府京丹後市議会からの意見書について

京都府京丹後市議会から意見書が提出されましたので、下記のとおり報告します。

平成30年1月22日

教育長 橋本 幸三

記

1 提出日

平成29年12月22日

2 提出者

京丹後市議会 議長 松本 経一

3 内 容

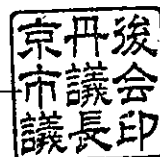
府立久美浜高等学校の福祉系列の存続を求めるもの。



9 議会第 1258 号  
平成 29 年 12 月 22 日

京都府教育委員会  
教育長 橋本幸三 様

京都府京丹後市議会  
議長 松本 経



意見書の提出について

地方自治法第 99 条の規定により議決した意見書を、別記のとおり提出いたします。

担当 京丹後市議会事務局  
事務局長 西山 茂門  
電話 0772(69)0010

(別記)

府立久美浜高等学校の福祉系列の存続を求める意見書

京都府教育委員会は、少子高齢化傾向が顕著な丹後地域において、府立高校の在り方について検討され、「学舎制の導入」「京都フレックス学園構想に基づく学校づくり」「地域創生教育推進プログラムの実施」「実施時期」の4点の基本方針が打ち出されています。

多様な教育課程を編成し、将来の地域を支える人材を育成するという高校の役割を果たすため学舎制が導入され、本市においては、網野高等学校と久美浜高等学校が学舎制とされています。網野高等学校においては、普通科教育の充実を図り、久美浜高等学校においては、現総合学科の各系列を踏まえた教育内容の充実を図るとし、さらに共通の内容として、企画経営学科や総合学科生産科学系列の教育内容を継承・発展させ、学舎間で連携した地域産業（観光、農業等）の振興に資する教育の在り方の検討が進められています。

地域を支える人材を育成するという観点から考えてみますと、観光・農業・福祉・ものづくりの分野においては、本市にとっては重要な課題であります。

特に、介護現場の人手不足は顕著であり、恒常的なヘルパー不足や介護人材が確保できずにやむを得ずショートステイを縮小しなければならない実態があります。

ニーズに対応した事業の拡大はもとより、事業所の健全な運営・維持に大きな支障がでてきています。介護サービスの基盤整備を推進するうえで、福祉人材の育成は急務であります。

久美浜高等学校では、他の高等学校に比べ多くの生徒が福祉系に進学や就職しております。また、地域の福祉施設とも連携した実習体験や訪問などで温かな交流や実績も構築され、地域の福祉を支える大きな力となっています。地域の産業振興、特に福祉人材を確保するために久美浜高等学校の福祉系列の存続を強く求めるものであります。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

平成29年12月21日

京都府京丹後市議会

